

次期長岡市総合計画の策定について

1 策定の趣旨

平成27年度をもって、平成18年度から始まった長岡市総合計画の10年の計画期間が終了します。

この間、長岡市は「前より前へ！長岡 人が育ち 地域が輝く」を合言葉に、合併による新市のまちづくりや、災害からの創造的復興をはじめ、各分野の諸施策を計画的かつ積極的に進めてきました。

これまでの総合計画に基づく成果を活かすとともに、魅力あるまちづくりを進展させるため、平成28年度からの次期長岡市総合計画を策定します。

2 計画の構成及び期間

今後の長岡市のまちづくりの方向性を示すにあたり、どのような構成及び期間が最適か検討し、計画策定の中で決定します。

3 策定の体制

(1) 市民参加による策定

- ①「長岡市総合計画策定委員会」を設置し、計画案を審議検討
- ②広く市民の声を把握して、計画に反映
- ③ホームページによる検討状況の公表、パブリックコメントの公募等

(2) 市議会との連携

議員協議会などで随時検討経過等を報告

(3) 行政における体制

「総合計画庁内策定会議」を設置し、計画案を作成

4 計画の範囲

総合的な計画とし、直接市が事業主体となる事業及び施策を基本としますが、必要に応じて国、県、民間等が事業主体となる事業等も包括するものとします。

5 他計画との調整

個別の行政計画とは、情報交換、情報共有を十分に行いつつ整合性と体系化を目指します。

6 今後のスケジュール（予定）

平成26年度に、策定委員会を3回程度開催して、現状と課題の整理や、将来像、計画の柱の検討を行います。

平成27年度は、平成26年度の検討を踏まえた中で、策定委員会を4回程度開催し、計画案を作成します。その後、市議会の議決を経て計画の決定となります。

<計画策定をとりまくキーワード>

[夢・希望]

- これからのまちづくりの骨太方針は何か。
- 人口が減っても、誰もが安心して暮らすためには。
- 人口減少、少子高齢社会において、どんな夢を描くか。
- 若者の希望（結婚、子育て、仕事）を実現させるには。
- 若者の本音をどう捉えるか。

[郷土愛]

- 故郷を遠く離れても長岡を思う人・ネットワークづくりがより大切になっていくのでは。（外から長岡を支える）
- 市民が誇りを持てるまちづくり

[活力]

- 新たな雇用をどう創出するか。
- 長岡の雇用はどのくらいあるのか。
- 女性が安心して働ける職場環境や、新たな就労への支援は。
- 地域のすがたをどう捉えるか。
- 全国・世界中から訪れたいくなるような長岡にするには。

[その他]

- 地方創生の「総合戦略とビジョン」と総合計画の関係
- 中越地域の発展をどのように考えるか。
- 市民が実感できる数値目標をどう捉えるか。

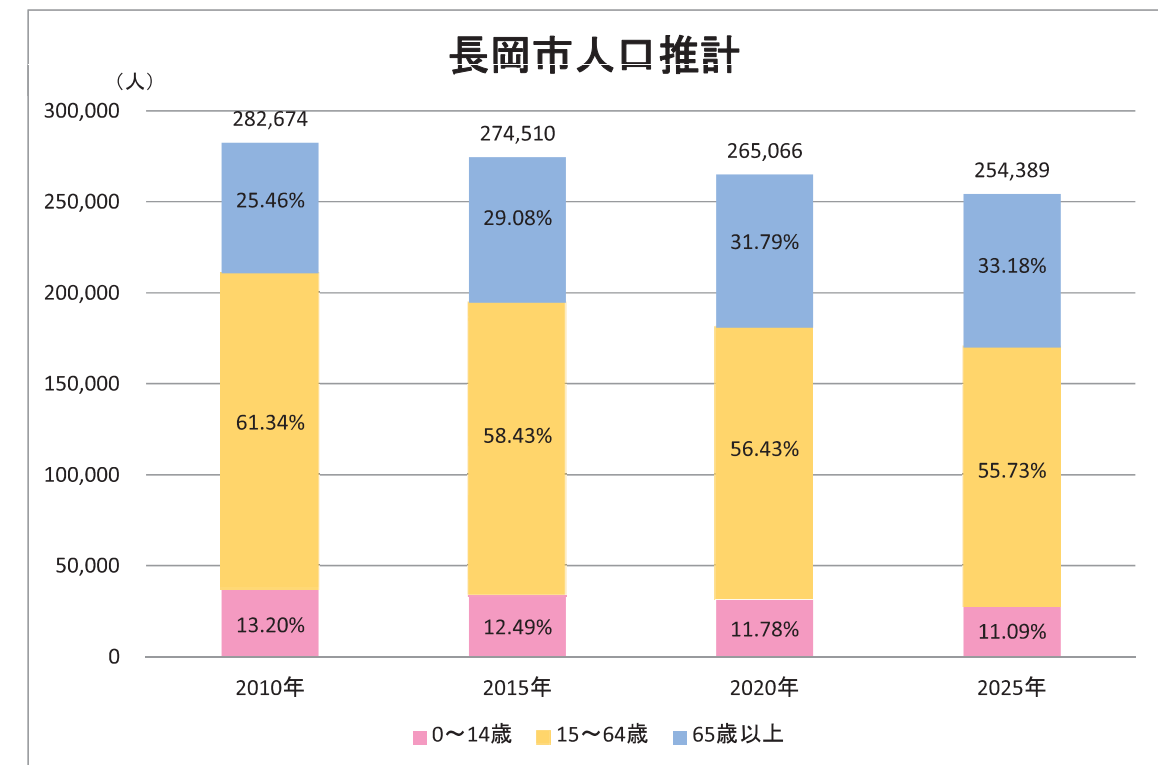
■ 将来の人口推計

	総人口			
	2010年	2015年	2020年	2025年
全国	128,057,352	126,597,298	124,099,926	120,658,816
新潟県	2,374,450	2,297,441	2,209,986	2,112,473
新潟市	811,901	800,925	783,049	759,686
長岡市	282,674	274,510	265,066	254,389
上越市	203,899	197,419	190,075	182,008

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2013年3月推計)

■ 長岡市人口推計

区分		2010年	2015年	2020年	2025年
人口 (人)	65歳以上	71,960	79,824	84,253	84,407
	15～64歳	173,392	160,409	149,588	141,767
	0～14歳	37,322	34,277	31,225	28,215
	総数	282,674	274,510	265,066	254,389
構成比	65歳以上	25.46%	29.08%	31.79%	33.18%
	15～64歳	61.34%	58.43%	56.43%	55.73%
	0～14歳	13.20%	12.49%	11.78%	11.09%



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2013年3月推計)